

こよみのよぶね

第11回

こよみのよぶね

川は流れる

舟は流れる

時は流れる



平成28年 2016年 **冬至** 一年で一番
夜が長い日。

12月21日(水)

【点灯時間】16時から20時頃

【会場】鶴飼観覧船のりば付近
～長良川右岸プロムナード～



第11回

こよみのよぶね

2016 12月21日 [冬至の日] [水]

[点灯時間] 16:00 ~ 20:00頃

[会場] 鵜飼観覧船のりば付近～長良川右岸プロムナード一帯

Schedule

	冬至迎え	16:00～17:30頃 〈鵜飼観覧船のりば〉	刻々と変わる黄昏の空の色を背景にして、いろいろな色の和紙で彩られた1から12の数字行燈に明りがひとつずつ灯ります。
	出 船	17:30頃 〈鵜飼観覧船のりば〉	船頭さんが船に乗り込み、干支船が先頭で1月船から順番に2月船、3月船と一隻ずつ、川岸から船出していきます。
	顔見せ	18:00頃 〈鵜飼観覧船のりば〉	「こよみのよぶね」が長良橋をぐり、下流から上がって来ます。
	お山下楽屋	18:30頃 〈お山下川原〉	12隻の月船と干支船がお山下の川原で、時を待ちます。
	時の流れ	19:00～20:00 〈長良川右岸プロムナード〉	太鼓の音とともに1月船から順番に上流から「こよみのよぶね」が流れてきます。「すぎ山」前の川岸に一隻ずつ接岸し、巫女による「こよみつけ」引き渡しの式が行われます。その後には全ての月船が金華山を背景にして川面に一列に並ぶ「総がらみ」で締めくくります。
	お見送り	20:00頃	時が流れていきます。10月船の後に、11月船、その後に12月船、こうして今年の時が過ぎていきます。そして今年の干支である午(うま)を乗せた干支船も役割を終えて、長良橋の下へと流れていきます。今年を振り返りつつ、来年へとつながる時を告げます。
	楽日初日	20:30～21:00頃 〈鵜飼観覧船のりば〉	終わりは始まりのしるしです。流れ着いた数字行燈を岸にあげて、解体し次の姿へと繋ぎます。骨組みの竹から和紙をはがします。その作業は当日、見にくられた方々も参加できます。竹からはがした数字行燈の和紙を持って帰って、そこに願い事を書くと、その数字行燈の月にかなうとか…。「こよみのよぶね」の思い出にどうぞお持ち帰りください。



写真:藤代 誉士

Map



【制作協力】

1月舟/LABORATORY・岐阜県立恵那特別支援学校 2月舟/学生団体IFU
3月舟/やながせ倉庫 4月舟/岐阜県立森林文化アカデミー 5月舟/夜空カフェ
6月舟/長良会 7月舟/長良川もてなし隊 8月舟/岐阜美少女図鑑
9月舟/チームおじま 10月舟/ぎふハロウィン 11月舟/チャンネル CCN
12月舟/長良東小学校 干支舟/チーム美濃和紙

Access

〈JR岐阜駅・名鉄岐阜駅からのアクセス〉

- ▶バス:長良橋を経由する岐阜バス【10番・11番・12番のりば】から約15分「長良橋」で下車。大人210円、子ども110円。
- ▶タクシー:JR岐阜駅・名鉄岐阜駅から約15分。約1,500円。

【お問い合わせ先】 こよみのよぶね実行委員会事務局 tel 058-294-7671
〈12/21当日のお問い合わせは090-1568-9796(加納)まで〉

<http://www.dnaand.org/> こよみのよぶね 検索

※鵜飼観覧船のりば前、長良橋、右岸プロムナード(赤線部分)より、観覧することができます。
※当日、長良右岸プロムナードへの一般車両の乗り入れはできません。